

光回線整備に関するアンケート調査報告書 事業所編（概要版）

平成 28 年 4 月 7 日

日野町

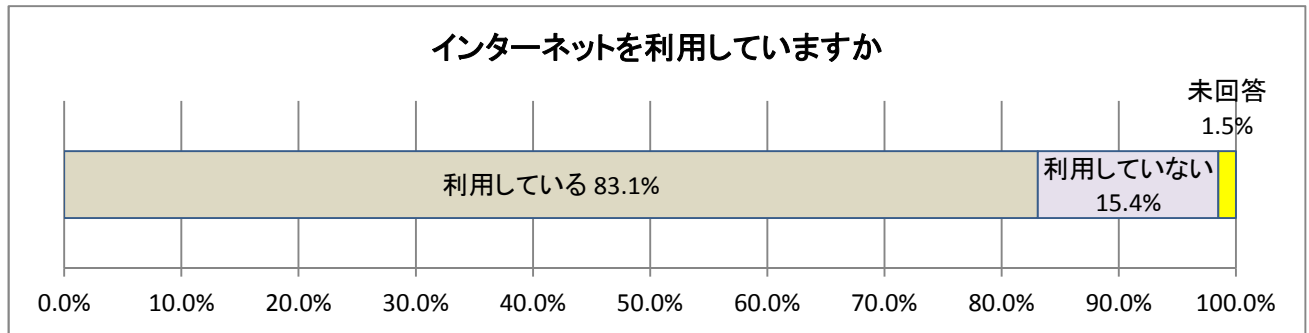
1 目的

現在日野町では光回線（超高速情報通信網）整備の必要性を検討しており、その検討にあたって光回線に対する町内事業所の意見やニーズを把握し、今後の施策の参考とするためアンケートを実施した。

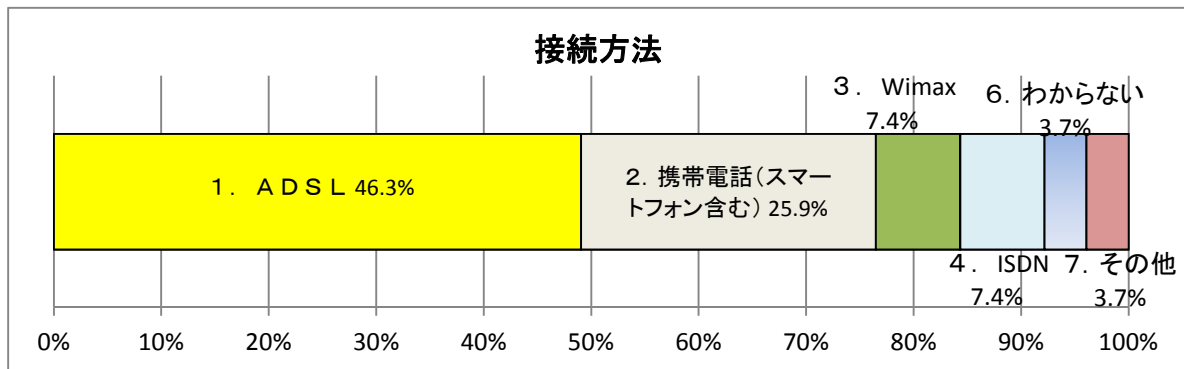
2 調査の方法

- (1) 対象 日野町全事業所 118 世帯
- (2) 配布及び回収 郵送で配布及び改修
- (3) 回収数 65 部回収 回収率 55.1%
- (4) 調査期間 平成 28 年 3 月 4 日～平成 28 年 3 月 31 日

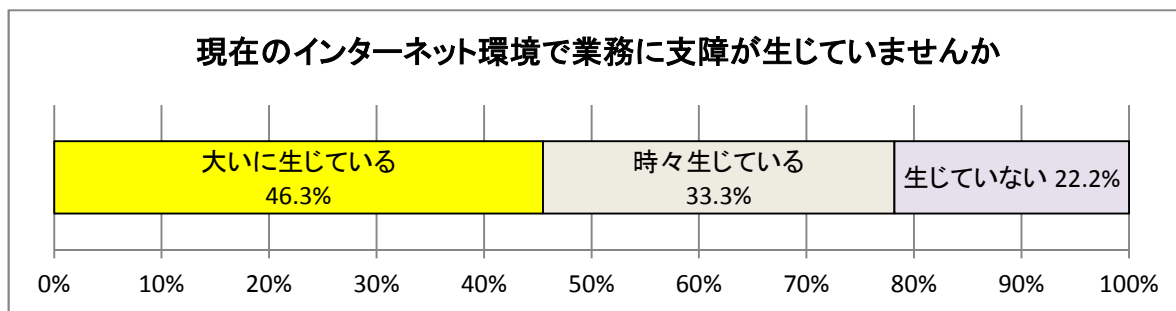
3 内容



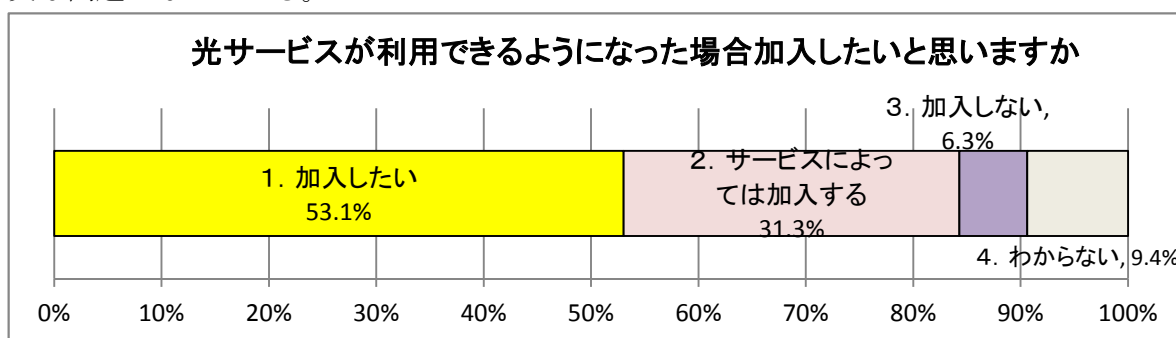
「インターネットを利用しているか」について「利用している」と回答した割合が 83.1%。回答した事業所のうち 8 割以上が利用していると回答した。従業員数が 1～9 人の小規模な事業者においても 79.6%が利用しており、インターネットは経済活動の基盤となっているようである。



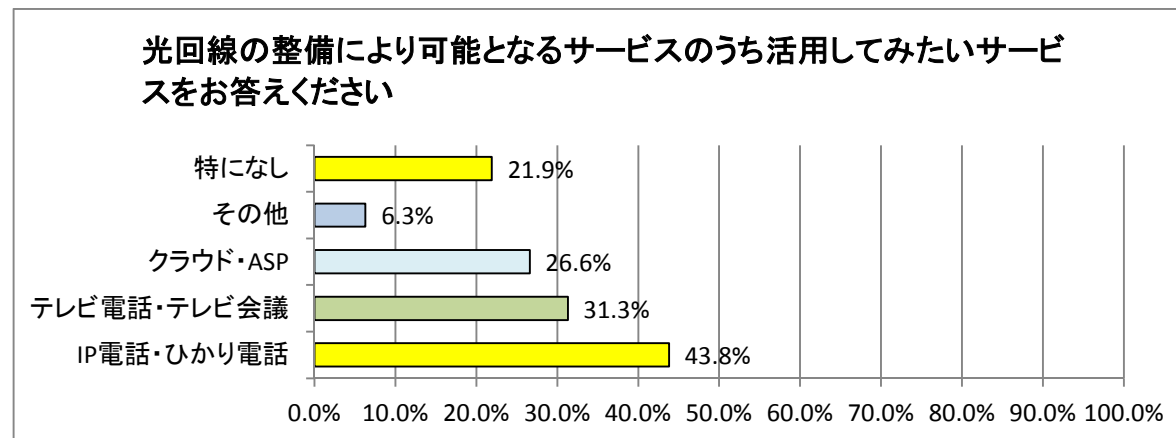
ADSL が 46.3%と最も高く次いで携帯電話 25.9%となっている。個人の利用では ADSL 35.9%、携帯電話 86.1%となっていたが事業所の利用では逆転しており、ビジネスでの利用においては固定のブロードバンドが望ましいことが伺える。



「大いに生じている」が46.3%、「時々生じている」が33.3%と回答事業所の8割近くが業務に支障があると回答している。内容の多くは「遅い」「容量が小さい」となっている。ADSLが利用できる根雨近辺においても7割近くが「業務に支障」と回答。また自由記載の支障の内容の欄にも詳細に記載している回答が多く事業所にとって高速ブロードバンドの整備は切実な問題となっている。



「加入したい」は回答事業所のうち53.1%、次いで「サービスによっては加入する」が31.3%で84.4%が整備後加入する意向がある。



「IP電話・ひかり電話」が43.8%と最も高く、次いで「テレビ電話・テレビ会議」となっている。

4 分析

現状に不満と回答した事業所は回答者のうち8割近くとなっている。また整備後「加入したい」「サービスによっては加入したい」とした事業所は回答者の84.4%になっており、非常に高い数値となっている。

業者間の取引や物販では超高速ブロードバンドがあることが前提となっている業務が多い。また自由記載の欄も大半が早期整備を求めるものが多く町内事業者にとって光ケーブルの整備はもはや死活問題となっている。